

一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

2016年度 事業報告書

<2016年4月1日～2017年3月31日>

The logo consists of the letters 'ATP' in a bold, black, sans-serif font. The 'A' is stylized with a diagonal slash through it. The 'T' and 'P' are solid and blocky.

目次

●	<u>2016 年度総括</u>	<u>p. 1</u>
●	<u>役員名簿</u>	<u>p. 2</u>
●	<u>組織戦略センター報告</u>	<u>p. 3</u>
	1. 財政基盤の安定化	
	2. 経営情報アンケートの実施	
	3. 制作者の連携を促進	
	4. 広報発信と省庁へのアピール	
●	<u>メディアセンター報告</u>	<u>p. 3</u>
	1. 「ATP の主張 製作と権利の認識について」	
	2. 放送事業者には公正な取引を求める	
	3. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の促進	
●	<u>事業センター報告</u>	<u>p. 4</u>
	1. テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017 東京	
	2. 『第 32 回 ATP 賞』受賞式	
	3. 各センター横断的事業・K プロジェクト(海外展開)	
	4. 第 5 回 ATP 若手映画プロジェクト	
●	<u>関西センター報告</u>	<u>p. 6</u>
	1. 第 4 回関西 ATP 賞実施及び関西新春交流会の開催	
	2. テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017 大阪	
	3. 関西協議会の開催	
●	<u>2016 年度活動記録</u>	<u>p. 6</u>
●	<u>その他</u>	<u>p. 14</u>

【2016 年度総括】 理事長 倉内均

会員各社に向けた 2016 年度の「経営情報アンケート」では民放局の制作費の減少と製作会社の受注額の減少が明らかになりました。こうした状況にありながら、ATP の事業は内容、予算とも年度当初に策定した年間計画通りに達成することができました。まずは、会員各社のご理解とご協力、そして理事、執行理事ならびに各プロジェクトの実行委員各位の熱意と努力の賜物と深く感謝を申し上げる次第です。

「製作会社は自立する」を旗印に掲げた本年度において、特筆すべき活動に「ATP の主張」の作成があります。コンテンツ制作における責任の明確化とそれに付随する諸権利の適正化をめざす製作会社の本来的なあり方を記すこの冊子は、放送事業者のみならず各方面で反響を呼びました。この「主張」はまた総務省が昨年 11 月に設けた「放送コンテンツの製作・流通促進等に関する検討委員会」に出席するなかで提出され議論の俎上に載せられています。

ATP の看板事業ともいえる「第 32 回 ATP 賞」では、総務大臣賞と特別賞・非放送系部門にネット配信コンテンツが受賞しました。映像メディア環境の多様化を反映したものに他なりません。

海外展開においては「Tokyo Docs 2016」、「第 11 回アジアドラマカンファレンス IN 福岡」などいずれも前回は上回る充実した内容となりました。とりわけ初参加となった「MIPCOM2016」へは 3 名の代表を派遣、会員各社のコンテンツをもってブース出展し、あわせて企画マッチングやフォーマット販売の可能性を見いだすことにもなりました。

人材育成関連では、「合同就職フェス」は人材確保が切実な状況を反映して参加社の数が増えたのをはじめ、「新人研修セミナー」、「インターンシップ」さらには「若手映画プロジェクト」など、次代の制作者育成に対する加盟各社のニーズに応えました。

関西センターでは「第 4 回関西 ATP 賞」と「合同就職フェス 2017 大阪」を柱に、在阪放送局との間で制作費や諸権利の問題を解決すべく協議がなされています。

また、本年度は「広報推進会議」が各センター横断の会議体として始動、総務省との定期会議をはじめ、マスコミ等にむけた ATP のアピールの発信源として活動していることを報告させていただきます。

【役員名簿】

2016年度は、下記の理事メンバーにて事業活動にあたった

《所属会社、役職は2016年10月当時》

氏名	所属社名	役職	
倉内 均	(株)アマゾンラテルナ	代表取締役会長	理事長
浦谷 年良	(株)テレビマンユニオン	常務取締役	副理事長
矢島 良彰	(株)テムジン	取締役CEO	副理事長
金澤 宏次	ユニオン映画(株)	代表取締役社長	副理事長
長谷川 豊	(株)レジスタ X1	代表取締役	副理事長
福浦 与一	IVS テレビ制作(株)	代表取締役社長	理事・組織戦略センター長
清水 哲也	(株)ドキュメンタリージャパン	代表取締役	理事・メディアセンター長
相川 弘隆	(株)いまじん	代表取締役社長	理事・事業センター長
森田 道明	(株)ジェイワークス	代表取締役	理事・関西センター長
荻原 伸之	(株)ジッピー・プロダクション	代表取締役	理事
音 好宏	上智大学新聞学科	教授	理事
武井 泉	(株)東阪企画	代表取締役社長	理事
田嶋 敦	(株)東京ビデオセンター	代表取締役社長	理事
中川 幸美	(株)クリエイティブネクサス	代表取締役	理事
沼田 通嗣	(株)テレパック	取締役	理事
林 健嗣	(株)《a》	代表取締役社長	理事
水野 伸宏	(株)クラッチ.	代表取締役	理事
山田 治宗	テレコムスタッフ(株)	取締役	理事
吉村 文雄	東映(株)	コンテンツ事業部長	理事
三門 健一郎	ATP 事務局常勤		常務理事
徳永 一彦	(株)メディア・バスターズ	会長	監事
中尾 幸男	(株)テレパック	ゼネラルプロデューサー	監事・顧問
澤田 隆治	(株)テレビランド	代表取締役社長	顧問
静永 純一	(株)CN インターボイス	取締役会長	顧問
工藤 英博	(株)PDS	代表取締役	顧問
内藤 昭浩	ATP 事務局	事務局長	

【事業報告】

＜組織戦略センター＞ 副理事長 浦谷年良、センター長 福浦与一

1. 財政基盤の安定化

「独立採算型」による事業運営は、当年度も継続して実施いたしました。その結果、大幅な赤字を出す事業はなく、「ATP 賞」「合同就職フェス」「Tokyo Docs」などの主要事業は、クオリティを維持したまま開催することができました。この施策により、収支構造は安定してきていますが、“踊り場状況”にあることに変わりはなく、正会員と賛助会員の拡大による収入増と支出抑制策の検討を続けています。

2. 経営情報アンケートの実施

6月～7月にかけて全会員社を対象に「経営情報アンケート」を実施し、10月に集計結果と分析報告を各社代表者宛に送付いたしました。今回の調査にあったっては、「ATPの主張 製作と権利の認識について」（以下「ATPの主張」）の冊子を同封し、会員社への周知を広げるとともに、この主張に照らして適正な制作費の実現や著作権の帰属などの実態がどうなっているかを報告していただきました。残念ながら多くの取引が主張通りとは言えない状況となっていることが伺い知れました。また、総売上と経常利益の平均値では、各社が売上確保の努力を続けていることから、収入はなんとか前年並みを維持できていますが、利益は大幅にダウンしている、という結果になりました。

3. 制作者の連携を促進

国内外の制作者との連携を深める試みや、制作・流通の国際展開を推進する試みを支援するために、「調査・研究費」と「Kプロジェクト予算」を計200万円計上しました。MIPCOM（2016年10月、仏カンヌ）出展など、いくつか対象となる事業はありましたが、いずれも助成金等の活用で、該当予算はほとんど使わずに実施できました。戦略的予算として、ここ数年、計上していますが、引き続き有効な活用方法を模索していきます。

4. 広報発信と省庁へのアピール

各センター横断の組織である「広報推進会議」では、「ATP 賞」受賞式当日の記者懇談会を通じた情報発信の強化を行いました。当日は「ATP 賞」に関する情報だけでなく、「若手映画プロジェクト」の進捗や、「ATPの主張」の内容について発表する機会を設けました。省庁へのアピールについては、「ATPの主張」や「経営情報アンケート」の内容を、総務省や公正取引委員会に説明するとともに、情報交換、意見交換を行いました。

＜メディアセンター＞ 副理事長 矢島良彰、センター長 清水哲也

1. 「ATPの主張 製作と権利の認識について」を通じた製作取引の適正化キャンペーン

策定の趣旨や文書の内容について ATP 会員社へ理解を深めていただくため、メディア委員会内で 1 回、『「ATP の主張」説明会』を 2 回、計 3 回に亘り説明会を開催しました。また、ATP ホームページ内でも内容をダウンロードして閲覧できるページを作成いたしました。会員社だけでなく外部の業界団体や放送各局への周知も図り、1,300 部以上を配布いたしました。各放送局には直接伺い主旨説明を行うことで取引適正化を訴えました。

2. 放送事業者には公正な取引を求める

2015 年 7 月末に公正取引委員会が発表した「テレビ番組制作の取引に関する実態調査報告書」の優越的地位の濫用規制上問題となりうる行為を受けた製作会社が 40%に及ぶという報告が発端の一つになり「ATP の主張」を策定。「ATP の主張」を持参し、省庁、放送局、関連団体の外部への周知及び ATP 会員社（内部）への周知を行いました。

3. デジタル時代の新たなコンテンツ展開の促進

製作会社の下請構造からの脱却を目指し、Tokyo Docs 2016 では、制作者の企画の質の底上げを行う新たな試み「Master Class」を行いました。選抜した日本人制作者 3 名を対象に、海外ドキュメンタリストを講師にしたプログラムを設け、1 年かけて企画を練り上げるトレーニングをいたしました。また動画配信サービスの需要拡大を受けて Tokyo Docs 2016 では、国内ディビジョン・メーカーへ初めて動画配信業者 2 社を加え、新しい国内共同製作パートナーを迎えました。

<事業センター> 副理事長 金澤宏次、センター長 相川弘隆

1. テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017、人材育成・専門領域セミナー、インターンシップ

1) テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017

TV エグザムという呼称が、「学生には浸透しづらい」「解りづらい」との指摘を受け、2016 年度から「テレビ番組製作会社合同就職フェス」という呼称に変更致しました。学生への新呼称の周知と合同就職フェスへの動員に繋げるため、ATP 主催による「ATP テレビ番組制作セミナー」や「個別相談会」、関連団体主催の就活イベントで学生への PR を徹底しました。結果、前年度の参加学生数 1,150 名から 1,231 名（増）へ繋げる事が出来ました。

2) 育成、専門セミナー

イ) 『ATP 合同新人研修セミナー』

参加者が 134 名の過去最高となりました。研修では、社会人としての基本である「マナー研修」や制作者としての肝となる「企画の立て方」「コンプライアンス研修」など充実した研修内容となりました。同セミナーは、製作会社の垣根を越えて ATP の“同期生”として、参加者同士交流を深める場にもなっています。

ロ) 専門領域セミナー

クリエイターズ・プラスとの共催セミナーは、『テレビ的動画配信サービス AbemaTV の戦略と展開 ～制作会社はどのように捉え、どのように関わって行くべきか?～』をテーマに 8 月に開催しました。

3) インターンシップ

8 月から 9 月にかけて、参加会社 17 社（東京 16 社：大阪 1 社）、参加学生 45 名にて ATP サマーインターシップ 2016 を実施しました。事前説明会への参加学生は 247 名、インターシップへの応募学生は、117 名と過去最高となりましたが、受入社数（前年 23 社から 17 社）受入枠数（前年 51 枠から 49 枠）共に減となりました。

2. 『第 32 回 ATP 賞』受賞式

作品募集の期間変更により 1 年半ぶりの開催となりました「第 32 回 ATP 賞テレビグランプリ」の受賞式典を 7 月 8 日（金）六本木のハリウッドホールにて開催しました。福岡徹総務省総務審議官、靱井勝人 NHK 会長、井上弘民放連会長よりご祝辞を頂戴しました。応募総数は、過去最高の 220 作品。栄えあるグランプリは、3 部門の最優秀賞の中から ATP 会員社の投票により情報・バラエティ部門のザ・プレミアム「京都人の密かな愉しみ」（オッティモ、NHK エンタープライズ、東映京都撮影所/NHK BS プレミアム）が選出されました。新人賞は従来の優秀新人賞だけでなく、会員社の投票によって選ばれる『最優秀新人賞』を新設し、奥間勝也ディレクター（アマゾンラテルナ）、ネット配信作品などを顕彰する特別賞・非放送系コンテンツ部門には「Hulu オリジナル連続ドラマ フジコ」（共同テレビジョン/Hulu）がそれぞれ選ばれました。

3. 各センター横断的事業・K プロジェクト(海外展開)

1) 国際コンテンツ・マーケット等へのパンフレット展開

2013 年から出展してきた TIFFCOM の経験と実績を踏まえ、2016 年度は、カントリー・オブ・オナーに日本が初めて選定され、出展に関わる費用を国際ドラマフェスティバルに負担して頂けるという事もあり、世界最大のテレビコンテンツ見本市 MIPCOM2016（フランス・カンヌ/2016 年 10 月 17 日(月)～20 日(木)／会場：Palais des Festivals）に日本国内の放送局とともに出展しました。ATP 加盟社のコンテンツカタログとトレーラー映像を駆使しての販売、ATP のプロモーション及び次年度以降に繋げてゆく為のマーケティング活動を行いました。

2) 『第 11 回アジアドラマカンファレンス 2016』を主催

「第 11 回アジアドラマカンファレンス 2016」（主催：KOFICE 韓国文化産業交流財団、AIE 九州・地域企業連合会 九州連携機構、ATP 全日本テレビ番組製作社連盟）が、11 月 21 日、22 日と福岡市キャナルシティ内のホテル会場で開催されました。日中韓をはじめタイ、ミャンマー、ベトナム、シンガポール、フィリピンから、第一線で活躍する 130 名を超える脚本家、ドラマ製作者、コンテンツ事業プロデューサーらが参加。今回のテーマ『マ

ルチプラットフォーム時代のドラマ・コンテンツの課題』に向けて、脚本家、製作者双方から、発表作品を基にした、多角的で現実的な分析、議論が課題解決に向け持たれました。

4. 第5回 ATP 若手映画プロジェクト

第5回目となる若手映画プロジェクトは2016年2月に応募を始め、2016年4月末の締め切りまでに4本の応募があり、下記企画が選考されました。

ドキュメンタリー映画「廻り神楽」

製作：(株)ヴィジュアルフォークロア /監督：遠藤協 大澤未来（共同監督）

<関西センター>副理事長 長谷川豊、センター長 森田道明

1. 第4回関西 ATP 賞実施及び関西新春交流会の開催

第4回の関西 ATP 賞は、4月から10月末にエントリーを受け付け、番組部門18作品、新人賞部門5作品の総数23作品の応募となりました。ATP 関西会員社の投票により決定するグランプリには、『ザ・ドキュメンタリー 横山やすし西川きよし結成50年 ～初めて明かされる素顔～』（製作会社：エー・ビー・シーリブラ/放送局：ビーエス朝日）が輝きました。関西新春交流会を兼ねての同受賞式は、過去最高の160名の参加者となりました。

2. テレビ番組製作会社合同就職フェス2017 大阪

長年TVエグザムの呼称で開催して参りましたが、「学生に伝わりづらい」などの声を受けて『テレビ番組製作会社合同就職フェス』と名称を変更致しました。エントリー数、参加人数については、前年実績を大きく上回りました。合同就職フェスの知名度を上げる為、在阪の放送局が参画する「クリ博ナビ2017 就活直前セミナーin 京都」にATP 関西センターとして参加し、学生への周知を図りました。その結果、前回の328名から401名の参加者となりました。

3. 関西協議会の開催

関西 ATP 会員社による関西協議を10月4日(火)新梅田研修センターで開催しました。関西 ATP 賞については、次年度が節目の第5回となる為、継続的な開催の有無を含めて総括を行う事になりました。今後は、制作費や権利の帰属など製作会社の抱える課題、労働問題についても当協議会の中で議論を深めて行く事になりました。

【2016年度活動記録】 ※敬称略 ※会社名・肩書きは当時のもの

2016年4月

●ATP 合同新人研修セミナー

開催日：4月6日(水)～4月7日(木)

会場：虎ノ門ツインビルディングカンファレンスホール B1F

参加者：134名（男性：73名、女性：61名）社数26社

昨年度実績：131名（男性：60名、女性：71名）社数30社

【1日目】

- ・『研修ガイドランス/ATPの役割』 説明：内藤昭浩（ATP事務局長）
- ・『クリエイターの心得』 講師：相川弘隆（ATP採用・研修担当理事）
- ・研修①：『テレビ番組が出来るまで』 講師：長濱薫（日テレアックスオン 取締役）
- ・研修②：『マナー研修』 講師：井原恵津子（オフィス・グランツ 代表取締役）
- ・講演Ⅰ：『テレビ業界を楽しむために！』 講師：金森直哉（クオリアマネージメント 代表 放送作家）

【2日目】

- ・研修③：『コンプライアンス研修』
講師：金澤宏次（ATP副理事長）、高田直（TBSテレビ制作局 制作考査部長）
- ・研修④：『企画が出来るまで』 講師：三井貴美也（ディレクターズ東京 取締役社長）
- ・スタッフ座談会
パネリスト：田辺貴（いまじん）、中谷陽介（いまじん）、小泉開渡（ジッピー・プロダクション）、
山田鞠子（ジャンプコーポレーション）、濱地咲季（東京ビデオセンター）、岩松悠（ユーコム）
- ・懇親会

●テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017 東京 ※（ ）内は前年実績

開催日：4月15日（金）～16日（土）

会場：パレスサイドビル「マイナビルーム」

参加者：1,231名（1,150名） 14日570名／15日661名

エントリー数：1,674名（1,698名） 14日773名／15日901名

参加会社：40社（33社）

●テレビ番組製作会社合同就職フェス 2017 大阪 ※（ ）内は前年実績

開催日：4月24日（日）

会場：梅田スカイビル「アウラホール」

エントリー数：605名（544名）、参加人数：401名（328名）

参加会社：14社（14社）

●Tokyo Docs 第1回 Master Class 4月25日（月）

場所：ATP事務局内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。各企画提案者の紹介、企画の概要説明など。

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

受講生：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

2016年5月

●Tokyo Docs 第2回企画開発セッション 5月13日（金）

「MIPDOC 報告会～海外のピッチング・セッションに参加した手応え～」

登壇：平野まゆ（テムジン）、米本直樹（テムジン）、日野原竜（東京ビデオセンター）、
塩原史子（塩原総合事務所）、弘理子（ヴィジュアルフォークロア）、
三浦庸子（ヴィジュアルフォークロア）

「ケーススタディ：日本×台湾 国際共同製作『格闘ゲームに生きる』」

登壇：田嶋敦（東京ビデオセンター）、古谷秀樹（WOWOW 制作局プロデューサー）

参加：26 社 56 名

●Tokyo Docs 第 2 回 Master Class 5 月 19 日(木)

場所：テレビマンユニオン内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。企画のセールスポイント、他の企画との違いについて。

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

受講生：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

2016 年 6 月

●第 18 回メディア委員会 6 月 21 日(火)

「ATP の主張」説明会

内容：策定の趣旨や文書の内容について、皆様に理解を深めていただく。

参加：28 社 43 名

●Tokyo Docs 第 3 回 Master Class 6 月 19 日(日)

場所：フランス・ドキュメンタリー祭、Sunny Side of the Doc の会議室

内容：講師と対面での会議。それぞれの企画についてトレーラーの作り方について。

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

受講生：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

2016 年 7 月

●第 32 回 ATP 賞テレビグランプリ 受賞式

日時：7 月 8 日(金)16:00~18:00

会場：六本木ハリウッドホール

来場者数：450 人

[グランプリ]情報・バラエティ部門「ザ・プレミアム 京都人の密かな愉しみ」

オットィモ、NHK エンタープライズ、東映京都撮影所/NHK (BS プレミアム)

[最優秀賞]

・ドラマ部門「新春スペシャルドラマ 富士ファミリー」

NHK エンタープライズ、フジクリエイティブコーポレーション/NHK (総合)

・ドキュメンタリー部門「NHK スペシャル いのち 瀬戸内寂聴 密着 500 日」

スローハンド、NHK エンタープライズ/NHK (総合)

◇第 32 回 ATP 賞 審査委員 (五十音順)

・審査委員長 林健嗣 (《a》)

・審査委員

[ドキュメンタリー部門]

佐藤幹夫 (NHK エンタープライズ)、峰添忠 (クリエイティブネクサス)、千野克彦 (フリー)

[情報・バラエティ部門]

福浦与一 (IVS テレビ制作)、中山準士 (いまじん)、桑原慶介 (ジッピー・プロダクション)、

[ドラマ部門]

霜田一寿 (ザ・ワークス)、佐野奈緒子 (大映テレビ)、雨宮望 (フリー)

[特別賞・非放送系コンテンツ部門]

吉村文雄 (東映)、品田英雄 (日経エンタテインメント)、

[新人賞]

・審査委員長 山口秀矢 (えふぶんの壱)

・審査委員

作井正浩 (いまじん)、池田一葵 (テレビマンユニオン)、藤尾隆 (テレパック)

渡辺将司 (IVS テレビ制作)

[総務大臣賞]

・審査委員長 天城鞆彦 (Tokyo Docs)

・審査委員 伊藤慎一 (シオン)、長谷川朋子 (放送ジャーナル社)

●Tokyo Docs 第3回企画開発セッション 7月14日(木)

「海外ドキュメンタリー祭最新事情～Hot Docs 報告会を兼ねて～」

登壇：藤岡朝子 (ドキュメンタリー・ドリームセンター代表)

「劇場版『また、歩き出すために～A Step Forward』を海外市場へ！」

登壇：煙草谷有希子 (ドキュメンタリージャパン)

「国際共同製作最前線舞台裏ケーススタディ」

登壇：三好雅信 (テレビマンユニオン/ディレクター)、

佐藤寿一 (テレビマンユニオン/プロデューサー)、依田一 (NHK WORLD TV /プロデューサー)

参加：29社57名

2016年8月

●ATP サマーインターシップ 2016

実施期間：8月1日(月)～9月30日(金)

参加：18大学(東京17:大阪1)、17会社(東京16:大阪1)

受入枠数：49名(東京47:大阪2)

学生：応募117名、参加45名(東京44:大阪1)

●ATP/クリエイターズ・プラス 共催セミナー

開催日時：8月2日(火)13時00分～16時30分

会場：マイナビルーム

テーマ：『テレビ的動画配信サービス AbemaTV の戦略と展開～制作会社はどのように捉え、どのように関わって行くべきか？～』

講師：大場洋士(テレビ朝日 総合ビジネス局)、小池政秀(サイバーエージェント)

●Tokyo Docs 第4回 Master Class・8月2日(火)

場所：ATP 事務局内会議室

内容：講師とのスカイプ会議。最新のトレーラーと、シノプシス原稿の確認など。

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

受講生：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

2016年9月

●TBS 協議 9月16日(金) 11:00-11:55

●日本テレビ協議 9月16日(金) 15:00-15:40

●「ATPの主張」説明会

第1回「ATPの主張」説明会 9月16日(金)、第2回「ATPの主張」説明会 9月30日(金)

参加：11社 20名

●第19回メディア委員会 9月26日(月)

「音楽著作権の“トリセツ”～映像制作における音楽著作権処理の基礎～」講座

講師：東條岳 (Field-R 法律事務所 弁護士)

内容：音楽にまつわる権利の大原則、番組制作上でのポイントなどについて。

参加：18社 41名

●Tokyo Docs 第4回企画開発セッション 9月29日(木)

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)、新野誠一(NHK)

「国際スタンダードと日本との制作手法の違い」「海外に売り込むための効果的なトレーラーの作り方」

参加：53名

●Tokyo Docs 提案者個別相談会 9月30日(金)

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

内容：Tokyo Docs 2016 でピッチングを行う制作者を対象にした相談会。

参加：6企画

●Tokyo Docs 第5回 Master Class 9月30日(金)、10月1日(土)

場所：ATP 事務局内会議室、スタンダード会議室 虎ノ門 SQUARE 会議室

内容：Tokyo Docs 2016 でのピッチングに向けた最終確認、相談など。

講師：アンティエ・ベーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

受講生：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

2016年10月

●Tokyo Docs 提案者個別相談会 10月1日(土)

講師：アンティエ・バーメルト Antje Boehmert(DOCDAYS Productions)

内容：Tokyo Docs 2016 でピッチングを行う制作者を対象にした相談会。

参加：5 企画

●テレビ朝日協議 10月14日(金)15:30-16:06

●フジテレビ協議 10月21日(金)15:30-16:03

●関西協議会

日時：2016年10月4日(火)15:30~17:00

会場：新梅田研修センター 「503号室」

議案：第4回関西 ATP 賞について、製作会社の問題について

2016年11月

●Tokyo Docs 2016

会期：11月7(月)~10日(木)

会場：JA 共済ビル カンファレンスホール (千代田区平河町 2-7-9)

主催：ATP/NPO 法人東京 TV フォーラム

【11月5日(土) Tokyo Docs プレイベント 「ドキュメンタリー 地域から世界へ」上智大学上映会】

内容：『ヤクザと憲法』(東海テレビ 2015/90分)の上映と、監督らによる対談。

登壇：土方宏史(東海テレビ)、秋山浩之(TBS テレビ)、音好宏(上智大学)

【11月6日(日) Tokyo Docs 事前ピッチ演習】

講師：スティーブン・サイデンバーグ Steven Seidenberg(LIC China)、今村研一(NHK エンタープライズ)

参加：14 企画

【11月7日(月) Tokyo Docs 2016 第1日目 アジアデー】

・パネル・ディスカッション「Colors of Asia 2016：彼女たちの夢～未来への道を切り開く女性たち」

・成果発表会

・「映画祭と国際共同製作」

モデレーター：藤岡朝子 (山形国際ドキュメンタリー映画祭/釜山国際映画祭 AND ファンド/Tokyo Docs)

パネラー：シェーン・スミス (Hot Docs)、ルビー・チェン (CCDF/CNEX)

・日本の製作会社による自社プレゼン

【11月8日(火) Tokyo Docs 2016 第2日目】

・ピッチング・セッション

・セッション

・「国際共同製作の始め方」

・「ケーススタディ Colors of Asia 2016 『波の向こうに～バングラデシュ・サーフガールズ～』」

登壇者：菅野誠 (テレコムスタッフ)、Md. Arifur Rahman (Goopy Bagha Productions)

【11月9日(水) Tokyo Docs 2016 第3日目】

・ピッチング・セッション

・セッション「映画祭からはじめる計画的な国際展開」

登壇者：シェーン・スミス (Hot Docs)

- ・セッション「海外最新ドキュメンタリー事情」

登壇者：ニック・フレーザー (Yaddo)、メッテ・ホフマン・マイヤー (the Why Foundation)

【11月10日(木) Tokyo Docs 2016 第4日目】

- ・「カラーズ・オブ・アジア 2016：彼女たちの夢～」上映会
「波の向こうに～バングラデシュ・サーフガールズ～」(バングラデシュ)、「ラグビーと女のわたし」(ラオス)、
「井戸で立ち上がる女たち～インド」(インド)
- ・セッション「企画開発を継続するノウハウ講座」

登壇者：アンティエ・ベームルト (DOCDAYS Productions)

- ・フォローアップのためのエキスパートとの個別相談会

◇受賞企画

[最優秀企画賞]「私だけ 聴こえる」松井至、平野まゆ (テムジン)

[最優秀アジア企画賞]「中国の忘れられた娘たち」ビンセント・ハイ・ドウ、キャシー・ホアン (中国)

[優秀企画賞(4企画)]

「プリズン・サークル」坂上香 (out of frame)

「12人の妻たち」 トニー・トリマルサンド、マンディ・マラヒミン (インドネシア)

「最後の贖罪」 三木哲、原野玲子 (東北新社)

「Dr.まあや カラー・オブ・ライフ」 梅崎陽 (テレビ東京)

[特別賞]「『自転車図書館』バーミヤンを走る」 アバス・モハマディ (アフガニスタン)

●WOWOW 協議 11月15日(火)16:00-16:30

●NHK 協議 11月18日(金)13:00-14:23

●NHK 大阪協議 11月18日(金)14:00-14:30

●第20回メディア委員会 11月25日(金)

「是枝裕和、『放送法』を語る」

講師：是枝裕和 映画監督・テレビディレクター。BPO 放送倫理検証委員会委員長代行

参加：25社 49名

2016年12月

●NHK 協議 12月20日(火)15:00-15:43

2017年1月

●第4回関西 ATP 賞&関西交流会

日時：1月24日(火) 18:00-20:00

会場：リッツカールトン大阪 ボールルーム イーストセントラル

来場者数：160名

来賓挨拶：松田安啓 (朝日放送 常務取締役)

乾杯：井口佳和 (テレビ大阪 常務取締役)

審査委員長：森田道明 (ジェイワークス代表取締役) ATP 関西センター長

審査委員：伊東宏明（メディアプルボ プロデューサー） ATP 関西センター 執行理事、
牛丸善弘（ブリッジ プロデューサー）、影山貴彦（同志社女子大学 学芸学部 情報メディア学科 教授）、
古川綾子（国際日本文化研究センター特任助教・上方演芸研究家）

●関西表敬訪問

[1月24日(火)] 読賣テレビ放送、朝日放送、毎日放送

[1月25日(水)] NHK 大阪放送局、テレビ大阪、関西テレビ放送

●ATP テレビ番組製作セミナーin 東京

開催日：1月29日（日）1回目 10：00～12：00、2回目 14：00～16：00

会場：発明会館

実績：（ ）内は前年実績

1回目 参加者：89名（112名） エントリー数：103名（127名）

2回目 参加者：67名（107名） エントリー数：87名（118名）

合計 参加者：156名（219名） エントリー数：190名（245名）

2017年2月

●Tokyo Docs 第1回 Tokyo Docs Academy 2017 2月3日(金)

「Master Class とは」

講師：今村研一(NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)

下温湯健(ドキュメンタリーカフェ プロデューサー)

「Master Class 2016 参加報告」

登壇：坂上香(out of frame)、原野玲子(東北新社)、松井至(テムジン)

参加：30名

●ATP 新春交歓会 2017

日時：2017年2月6日（月）18:30-20:00

会場：都市センターホテル 3F「コスモスホール」

出席者：ATP 会員社／162名 会員社以外／221名 合計 383名

祝辞 金子めぐみ（総務大臣政務官）

乾杯 上田良一（日本放送協会会長）

祝辞

[放送メディア]西新（テレビ朝日 総合編成局長）、橋本孝（TBS テレビ 編成担当局長）、

長田隆（テレビ東京 編成局長）、石原隆（フジテレビジョン 執行役員編成局長）、

福田博之（日本テレビ放送網 執行役員編成局長）、山本均（WOWOW 編成局長）

[配信メディア]ジュリアン ライハン（NETFLIX コンテンツ・ディレクター）、

船越雅史（HJ ホールディングス 副社長）

●テレビ東京協議 2月16日(木)16:30～17:00

●クリ博ナビ 2017 就活直前セミナーin 京都 テレビ（放送）業界

開催日時：2月16日（木） 10:00～13:00

会場：立命館大学

参加会社：NHK／WOWOW／ATP

エントリー数：664名、参加人数：277名

2017年3月

●ATP テレビ番組製作セミナー 個別相談会

開催日：3月20日(月)

時間：【1】10:00-11:30 【2】12:00-13:30 【3】14:00-15:30 【4】16:00-17:30

会場：TKP スター貸会議室 虎ノ門「カンファレンスルーム 502」

参加者：60名 エントリー：95名

内容：1. 「製作会社と局の関係」、2. 若手スタッフを囲んでの個別相談会

パネリスト：秋田谷優里(アマゾンラテルナ)、原佑基(ドキュメンタリージャパン)、佐野竜也(厨子王)、
百丸遼(ディレクターズ東京)、折坂美帆(アマゾンラテルナ)、寺田健太(いまじん)、杉山玲奈(いまじん)

●NHK 協議 3月28日(火)10:28-11:45

●第21回メディア委員会 3月29日(水)

「新局面を迎えた映像配信サービスの将来展望と、製作会社の可能性」講座

講師：辻泰明(国立大学法人筑波大学 図書館情報メディア系 教授)

内容：映像配信サービスの需要が高まる中での「映像コンテンツ」のゆくえについて。

【その他】

1. 総会

●第4回通常総会（決算総会）

日時：2016年6月24日(金) 15:30-16:30

場所：日本消防会館（ニッショーホール）5階 大会議室

議案：

第1号議案 2015年度事業報告（案）

第2号議案 2015年度決算報告（案）

第3号議案 「役員候補者選出手続規程」改訂(案)

第4号議案 役員改選に伴う理事、監事 承認について

第5号議案 2016年度事業計画（案）

第6号議案 2015年度収支予算（案）

2. 理事会

2016年度の理事会は、全7回開催しました。

●第20回定例理事会 5月20日(金)

2015年度事業報告書（案）、及び決算書（案）について 承認

ATP賞特別賞（推薦枠）について 承認

●第21回定例理事会 6月24日(金)

2016年経営情報アンケート項目について 承認

スーパーハイビジョン試験放送に関わる委託費の追加料金についてのお願い 承認

●第 22 回定例理事会 6 月 24 日(金)

代表理事、役員を選出について 承認

●第 23 回定例理事会 9 月 30 日(金)

2016 年経営情報アンケートについて調査結果まとめ 承認

ヴォックス 9 月末 退会

●第 24 回定例理事会 11 月 25 日(金)

新規会員社 (デジタル SKIP ステーション) 承認

●第 25 回定例理事会 1 月 27 日(金)

NHK 放送番組制作業務委託 (外部制作) 契約書の文言の追記について 承認

テレビ東京「テレビ番組製作契約書」(著作権あり)の見直しについて 承認

タキオンジャパン 12 月末 退会

●第 26 回定例理事会 3 月 31 日(金)

2017 年度 事業計画書 (案) 予算書 (案) について 承認

各局協議 テレビ東京 (2/16) NHK (3/28) 承認

組織横断型プロジェクトについて 承認

新規会員社 (大河プロダクション) 承認

以上